

調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

全国学力・学習状況調査 中学国語 B問題 3三

【单元名】 挨拶 - 原爆の写真によせて (第3学年)

調査結果からみる課題

【課題となる力】

詩を読んで、その内容、構成、表現上の特徴などを踏まえた上で、写真という性質の異なる作品と関連付け、自分の考えを根拠を明確にして、筋道の通った文章で書く力。

【指導上の課題】

- 1 文章を読んで、その内容、構成、表現上の特徴などを踏まえた上で、写真・絵画・音楽などの性質の異なる作品と比較したり、関連付けたりする学習が不十分である。
- 2 自分の意見が相手に分かりやすく伝わるように、根拠を明確にし、筋道の通った文章を書かせる指導の工夫が十分ではない。

指導改善のポイント

性質の異なる作品を関連付け、根拠を明確にして説明する。

【指導の工夫】



意見文についての既習事項を振り返らせる。



文章と性質の異なる作品を関連付けて説明する(書く)際に必要な条件をとらえさせる。



詩と組み合わせたい写真を選ばせ、その根拠を説明する文章を、条件に従って書かせる。



書いた文章を必要条件と照合させ、推敲させる。



今までの学習をもとに、意見文についての既習事項を振り返らせる。



よい文章例と課題のある文章例を比較・分析させ、文章と性質の異なる作品を関連付けて説明する(書く)ときの必要条件をとらえさせる。

条件 自分がどの写真を選んだのかを明確にする。 【立場の明確化】
組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付け、関連性を明確にして書く。 【理由・根拠の明確化】
 自分が詩のどこに着目し、どのように感じたのか。
 自分が選んだ写真のどのような部分が詩と合うと考えたのか。
詩の中の言葉を使って書く。 【詩の言葉を引用】
(後ろの文に続くように)筋道の通った整った文章で書く。 【整った文章】
 指定された字数で書く。 【字数】



詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて、詩と組み合わせたい写真を選ばせ、その写真と組み合わせる理由を条件に従って書かせる。



書いた文章を必要条件と照合させ、推敲させる。

中学校第 3 学年 国語科学習指導案

単元名：「挨拶 原爆の写真によせて」

日時・場所 平成 21 年 10 月 20 日 (火) 3 年 B 組教室
 学年・学級 3 学年 B 組 39 名 (男子 20 名, 女子 19 名)

単元について

本単元は、学習指導要領の「B 書くこと」(第 2 学年及び第 3 学年)の指導事項「エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと」と、「C 読むこと」(第 2 学年及び第 3 学年)の指導事項「エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」、「オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること」を受けて設定したものである。

本単元では、詩を読んで、その内容や構成、表現上の特徴などを踏まえた上で、写真という性質の異なる作品と関連付け、自分の考えを第三者に伝わるように根拠を挙げながら説明する学習を通して、詩への理解を深めるとともに、思考力、判断力、表現力を一体的に育成することをねらいとする。

そのねらいを達成するために、まず、既習事項をもとに性質の異なる作品を関連付けて説明する際に必要な条件をとらえさせようとして、教材として教科書に挙げられている詩「挨拶 - 原爆の写真によせて」を読み味わわせる。唯一の被爆国・日本に生きる我々の日常に潜む危うさについて書かれた「挨拶」は、作者石垣りんが、過去を教訓とし、これからどう生きるかという問題を提起した作品である。表現の仕方や語句に着目して、詩に一貫して流れる作者の思いや主題を読み取らせ、現実の世界の在り方と対応させながら、自分の生き方について考えさせたい。そして、この詩と組み合わせる写真を選んで、その写真と組み合わせる理由を詩と写真とを関連付けて書かせ、更に条件に照らして推敲させていく。これらの学習活動を通して、生徒の課題である、性質の異なる作品を関連付け、根拠を明確にして説明する力の育成を図りたい。

調査結果からみる課題

「全国学力・学習状況調査」国語 B 主として「活用」に関する問題 3三

(1) 問題の概要

まどみちおの「樹」という詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて、詩と組み合わせたい写真を 5 枚の中から 1 枚選び、その写真と組み合わせる理由を条件にしたがって書く。

条件 1 写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付けて書くこと。

条件 2 詩の中の言葉を使って書くこと。

条件 3 解答用紙に書かれている後ろの文「だから、私はこの写真と組み合わせます。」に続くように、60 字以上、90 字以内で書くこと。

(2) 出題の趣旨

詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連付けて自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

(3) 誤答の分析

解答類型		2	3	4	5	6	9	無解答
本校の割合 (%)	52.7	0	5.4	18.9	16.2	0	6.8	0

解答類型 3 について

詩の中の言葉を引用して書いていない。

解答類型 4 について

詩の中の言葉を引用して自分が詩のどこに着目したのかは書いているが、自分が選んだ写真のどのよ

うな部分が詩と合うと考えたのかを説明していないため、詩と写真との関連が明確になっていない。

- 誤答例 ・私がこの写真を選んだ理由は、詩に「樹は土に立っている 樹はそこから歩かない 樹は空へ向いている」と書かれており、このことがよく伝わってくると思ったからです。
- ・私がウの写真を選んだ理由は、詩の中に「空がしみたのであろうか 土がにじんだのであろうか」とあり、この二つがいえる写真はウしかないと思ったからです。
- ・私はウを組み合わせます。その理由は、詩の中に「樹・土・空」の言葉が何回も出てきたからです。そして、「樹は土に立っている」の表現に着目し、土に立っている写真を選びました。

解答類型 5 について

「だから、私はこの写真と組み合わせます。」に続くように、筋道の通った整った文章で書かれていない。

誤答例 ・私がウの写真を選んだ理由は、詩の中にあるように、「樹は土に立っている」「樹は空へ向いている」とあるので、ウの写真は樹と土と空が写っています。それに、樹一本だけの方が詩の内容が伝わります。

- ・私は、アの写真を選びました。理由は、「そして枝先は空に溶けてる」という言葉をアの写真は枝が空へ溶けこんでいて、とてもこの詩と合っているからです。

解答類型 9 について

解答類型 3 と 5, 4 と 5 に重複してあてはまる。

組み合わせる写真の記号は書いているが、その理由を書いている。

(4) 指導上の課題

- 1 文章を読んで、その内容、構成、表現上の特徴などを踏まえた上で、写真・絵画・音楽などの性質の異なる作品と比較したり、関連付けたりする学習が不十分である。
- 2 自分の意見が相手にわかりやすく伝わるように、根拠を明確にし、筋道の通った文章を書かせる指導の工夫が十分ではない。

指導改善のポイント

(1) 指導内容・指導方法について

課題となっている力を育成するために、「性質の異なる作品を関連付け、根拠を明確にして説明する(書く)」ことを指導改善のポイントとし、次の1～5のステップを踏んで指導を行う。

		指導内容・指導方法
1 ↓	課題の把握	「全国学力・学習状況調査」国語B 主として「活用」に関する問題 3三
		今までの学習をもとに、意見文についての既習事項を振り返らせる。
2 ↓	課題の解決 当該学年の指導	よい文章例と課題のある文章例を比較・分析させ、文章と性質の異なる作品を関連付けて説明する(書く)ときの必要条件をとらえさせる。
3 ↓	当該学年の指導 定着の徹底	詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて、詩と組み合わせたい写真を選ばせ、その写真と組み合わせる理由を条件に従って書かせる。
4 ↓	当該学年の指導 定着の徹底	書いた文章を必要条件と照合させ、推敲させる。
5	定着の確認 1と5の文章の変容 課題の分析 改善へ	新たな詩を提示し、詩と組み合わせたい写真を選ばせ、その写真と組み合わせる理由を書かせる。(評価問題)

(2) 「ことばの教育」との関連

「言語技術」を活用した指導を通して、生徒に付けたい力は次の通りである。

文章を比較・分析する場面

・・・・ 目的に応じて必要な情報を分析，整理する力

詩と写真とを関連付けて，理由を説明する文章を書く場面

・・・・ 目的に応じて必要な情報を分析，整理する力

・・・・ 具体的な理由・根拠を明らかにして意見を書く力

単元の目標

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・状況を自分なりに想像しながら詩を読んで主題をとらえ，人間や社会の在り方について考えようとしている。	・関連付けて説明するときに必要な条件を理解して，自分の意見が相手に分かりやすく伝わるように，根拠を明らかにし，筋道を立てて書いている。 ・書いた文章を読み返し，文や文章を整えて説得力のある文章にしている。	・効果的な表現や語句に着目しながら，詩に一貫して流れる作者の思いや主題を読み取り，現代に生きる人間や社会の在り方について考えている。 ・目的をもって詩を読み，必要な情報を集めて自分の表現に役立てている。	・詩に用いられている多様な語句について理解を深めている。 ・文の中の文の成分の順序や照応，文の組み立てなどについて考えている。

指導と評価の計画

(全5時間)

次	学習内容(時数)	評 価				評価方法
		関	書	読	言	
一	・今までの学習をもとに，意見文についての既習事項を振り返る。 ・全国学力・学習状況調査の問題を振り返り，よい文章の例(正答例)と課題のある文章(誤答例)を比較・分析し，性質の異なる作品を関連付けて説明する(書く)際に必要な条件をとらえる。 (1)					・文章と性質の異なる作品を関連付けて説明する(書く)際に必要な条件を理解している。 観察 ワークシート
二	・詩「挨拶」を読み，その背景を知り，前半(第5連まで)の語句や表現に込められた意味や作者の思いを読み取る。 (1)					・描かれた状況を自分なりに想像しながら読もうとしている。 ・作品の背景を理解し，作者の思いを表現に即して読み取っている。 観察 ワークシート
	・詩「挨拶」の後半(第6・7連)の語句や表現に込められた意味を読み取り，主題をとらえ，現実の世界の在り方と対応させて，自分の生き方について考える。 (1)					・表現の仕方や語句に着目して読み，詩にこめられた作者の思いや主題をとらえ，現実の世界の在り方と対応させながら，自分の生き方について考えている。 ・多様な語句についての理解を深めている。 観察 ワークシート

三	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶」の詩と組み合わせたい写真を選び、詩と写真とを関連付けて、その理由を説明する文章を書く。 ・グループで交流し、相互評価(分析)する。(1) 【本時1/1】 				<ul style="list-style-type: none"> ・詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて、写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と写真とを関連付け、根拠を明確にして自分の考えを筋道立てて書いている。 	ワークシート
四	<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価をもとに、推敲する。 ・推敲した文章を交流し合う。(1) 				<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み返し、条件に照らして推敲し、説得力のある文章にしている。 	ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

「挨拶」の詩と組み合わせる写真を選び、組み合わせる理由が分かるように、詩と写真とを関連付けて説明する文章を書く。

(2) 観点別評価規準

詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて、写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と写真とを関連付け、根拠を明確にして自分の考えを筋道立てて書いている。

(3) 本時で活用する「言語技術」

情報を的確に分析する技術

- ・内容………詩と写真を分析して、詩の内容や構成、表現上の特徴と写真の特徴をとらえ、相互の関連性を考える。

詩と写真とを関連付けて、組み合わせる理由を説明した文章を読み、条件が満たされているか分析する。

- ・書く活動…個人思考の場面において、「挨拶」の詩と組み合わせたい写真を選び、詩と写真とを関連付けて、組み合わせる理由を説明する文章を書く。

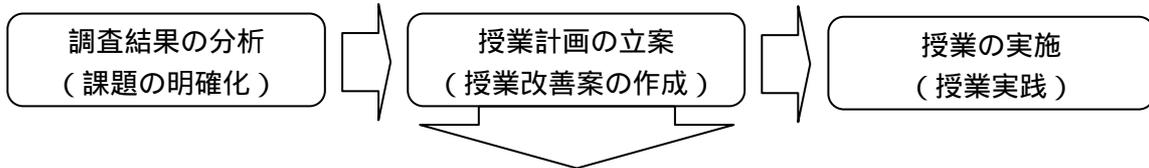
(4) 本時の学習展開

	学習活動		指導上の留意事項	評価規準	評価方法
	教師の働き掛け 発問 主発問 補助発問	生徒の反応			
導入	1 本時の目標を確認する。				
	<p>・詩「挨拶」を音読させ、前時の学習内容を想起させる。</p> <p>(1) 課題設定</p> <p>・本時の課題を確認させる。</p> <p>詩と組み合わせる写真を選び、組み合わせる理由が分かるように、詩と写真とを関連付けて説明する文章を書こう。</p>	<p>「挨拶」を音読し、前時の振り返りをする。</p> <p>本時の課題を確認する。</p>			
展開	2 詩と組み合わせる写真を選び、詩と写真とを関連付けてその理由を書く。				
	<p>(2) 習得・確認</p> <p>詩と写真を組み合わせる理由が分かるように説明する文章を書くときに、必要な条件を確認しよう。</p> <p><u>自分がどの写真を選んだのかを明確にする。</u> 【立場の明確化】 <u>組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付け、関連性を明確にして書く。</u> 【理由・根拠の明確化】 <u>詩の中の言葉を使って書く。</u> 【詩の言葉を引用】 後ろの文（「だから、私はこの写真と組み合わせます。」）に続くように、筋道の通った整った文章で書く。 【整った文章】 指定された字数で書く。 【字数】</p>	<p>全国学力・学習状況調査の問題を想起し、条件を発表する。</p>	<p>・詩と自分が選んだ写真を組み合わせる理由が分かるように書くためには、自分が詩のどこに着目し、どのように感じたのか、自分が選んだ写真のどのような部分が詩と合うと考えたのかといったことに触れて書く必要があることを押さえる。</p>	<p>分析の観点 (読解・特徴・関係)</p> <p>(1) 詩の内容や構成、表現上の特徴と写真の特徴をとらえる。</p> <p>(2) 詩と写真の関連性を考える。</p>	
	情報を的確に分析する技術				
	<p>(3) 個人思考</p> <p>「挨拶」の詩と組み合わせたい写真を選び、その写真と組み合わせる理由が分かるように、5つの条件に従って説明する文章を書こう。</p>	<p>詩と組み合わせる写真を選び、5つの条件に従って詩と写真とを関連付けて組み合わせる理由を書く。</p>	<p>書く活動</p> <p>・机間指導を行い個別に支援を行う。</p>	<p>詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて、写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と写真とを関連付け、根拠を明確にして自分の考えを筋道立てて書いている。</p>	<p>ワークシート</p>

3 交流し、相互評価をする。				
展 開	(4) 集団思考	<p>グループ内で読み合い、5つの条件が満たされているか分析し相互評価をしよう。</p> <p>グループの中で最も説得力のある文章を一つ選ぼう。</p> <p>・グループで選んだ文章を全体場で発表させる。</p>	<p>グループ内で読み合い、5つの条件が満たされているか評価カードに記入する。記入した評価カードをもとに、グループ内で評価を交流し合う。</p> <p>グループ内で最も説得力のある文章を一つ選ぶ。</p> <p>代表者が選ばれた文章を全体場で発表する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 分析の観点(条件) (3)個々の文章を読み、5つの条件が満たされているか分析する。 </div> <p>・選ばれた文章が5つの条件を満たし、説得力があることを確認する。</p>
	4 学習のまとめと自己評価をする。			
ま と め	(5) まとめ	<p>・本時のまとめをする。</p> <p>・本時を振り返り、自己評価をさせる。</p>	<p>自己評価カードに記入する。</p>	

検 証

検証の方法



課題となる力

詩を読んで、その内容、構成、表現上の特徴などを踏まえた上で、写真という性質の異なる作品と関連付け、自分の考えを根拠を明確にして、筋道の通った文章で書く力。

検証の方法

「全国学力・学習状況調査」B問題³と改善授業を実施した後の評価問題の結果とを比較分析する。

〔問題〕詩と組み合わせる写真を選び、その写真と組み合わせる理由を条件に従って書く。

事前： 詩「樹」 まどみちお 5枚の写真の中から1枚を組み合わせる。
字数 60字以上 90字以内

事後： 詩「名づけられた葉」 新川和江 5枚の写真の中から1枚～2枚を組み合わせる。
字数 100字以上 140字以内

条件（評価項目）

自分がどの写真を選んだのかを明確にする。	【立場の明確化】
組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付け、関連性を明確にして書く。	【理由・根拠の明確化】
詩の中の言葉を使って書く。	【詩の言葉を引用】
後ろの文（「だから、私はこの写真と組み合わせます。」）に続くように、筋道の通った整った文章で書く。	【整った文章】
指定された字数で書く。	【字数】

検証結果分析

1 全体の傾向

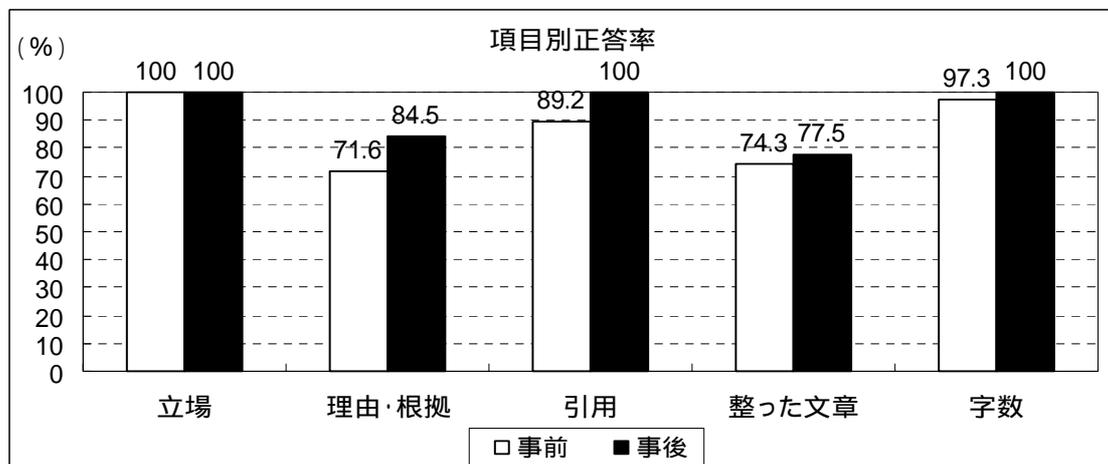


図 1

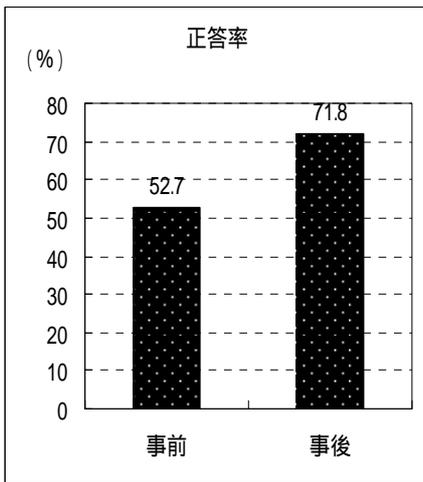


図 2

図 1, 2 は, 事前の「全国学力・学習状況調査」B問題³と事後の評価問題の正答率を比較したものである。図 1 に示すように, 評価を行った 5 つの項目全てにおいて正答率が上昇しており, 立場の明確化, 詩の言葉の引用, 字数については, 100%となった。理由・根拠の正答率も 71.6%から 84.5%と 12.9 ポイント上昇し, 組み合わせる理由が分かるように, 詩と写真との関連性を明確にした説明が増加している。最も正答率が低いのは, 整った文章の 77.5%で, 事前と比較しても 3.2 ポイントの伸びしか見られなかった。特に主語・述語の照応等の文法上の誤りが依然多い。

全ての条件を満たした生徒は, 図 2 に示すように 52.7%から 71.8%に上昇している。理由・根拠の無解答率も, 2.7%から減少して 0 となり, 無解答の生徒がいなくなった。

2 個の変容

生徒 A……詩の言葉の引用がなく, 詩と選んだ写真との関連性が明確になっていない生徒の変容

事前

アと組み合わせた理由は, この写真の樹は空へ向いているように見えたからです。樹を下からとってあり, いかにも空に向かってどんどん伸びていっているかのように見えます。

事後

私は, 「名づけられた葉なのだから 考えなければならない」という表現が印象に残りました。ウの一人一人が一生懸命歌っている合唱の写真と組み合わせることで, 私達人間はせっかくこの世に生まれ, 立派な名前をもらったのだから, 自分の人生を精一杯生きてほしいという作者の思いが伝わると思っています。

写真についての説明はあるが, 詩の中の言葉を引用して自分が詩のどこに着目し, どのように感じたかを書いていない。

生徒 B……詩と選んだ写真との関連性が明確になっていない生徒の変容

事前

私がこの写真を選んだ理由は, 詩に「樹は土に立っている 樹はそこから歩かない 樹は空へ向いている」と書かれており, このことがよく伝わってくると思ったからです。

事後

私は「誰のまねでもない 葉脈の走らせ方を 刻みのいれ方を」という表現から, 自分の人生を自分らしく个性的に一生懸命生きていってほしいという作者の思いを強く感じました。エの生き生きと笑っている一人の少女の写真と組み合わせることによって, 作者の主張をより伝えることができると思っています。

詩の中の言葉を引用して自分が詩のどこに着目しかは書いているが, 選んだ写真のどのような部分が詩と合うと考えたのかを説明していない。

生徒C……整った文章で書けていない生徒の変容

事前

私がウの写真を選んだ理由は、詩の中にあるように、「樹は土に立っている」「樹は空へ向いている」とあるので、ウの写真は樹と土と空が写っています。それに、樹一本だけの方が詩の内容が伝わります。

詩と選んだ写真の関連性は明確になっているが、主語・述語のねじれがあり、整った文章になっていない。

事後

私は「名づけられた葉なのだから 考えなければならない」という表現が印象に残りました。たくさんのポプラの葉と私達の名前の写真を組み合わせることで、ポプラと違って名づけられた名を持つ私達は、精一杯個性を輝かせて生きていかなければいけないという作者の思いを伝えることができます。

生徒D……無解答だった生徒の変容

事後

カの写真には私達一人一人の名前が写されています。詩に「わたしは呼ばれる わたしだけの名で 朝に夕に」とあるように、カの写真と組み合わせることで、作者は一人一人違う名前を持つ自分の個性を大切にしてほしいといっていると思います。

A, B, C どの生徒も事前の課題を克服し、5つの条件を全て満たしている。詩の内容や主題を踏まえて組み合わせる理由がよくわかるように、詩のどこに着目し、選んだ写真のどのような部分が詩と合うと考えたのか、詩と写真の関連性を明確にして自分の考えを整った文章で書くことができた。事前で無解答だったDの生徒は、4つの条件を満たし、詩と写真の関連性を明確にして書くことができたが、整った文章で書くという条件に課題が残った。

考察

以上の分析から、詩を読んでその内容や構成、表現上の特徴などを踏まえた上で、写真と関連付け、自分の考えを第三者に伝わるように根拠を挙げながら説明する学習を通して、課題である性質の異なる作品と関連付け、根拠を明確にして説明する力が向上したと考えられる。本指導の有効性をとらえることができる。今後も文章と写真や絵画、音楽などの作品を比較したり関連付けたりする学習を行い、作品への理解を深めるとともに、思考力や表現力の育成を図っていきたい。

事後においても、主語・述語の照応等の誤りが多く、文法的に正しい文章で表現する力に依然課題があることから、文や文章を整えて筋道の通った文章に推敲させる指導の継続・工夫が必要である。課題作文に限らず、日常的に書いた文章を読み返し、文の中の文の成分の順序や照応、文の組み立てなどについて考え、推敲させる指導を行っていかねばならない。